

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	令和2年11月24日(火) 15時00分 開会 16時30分 閉会
開 催 場 所	
出 席 者 氏 名	【会議委員】 横山委員、水島委員、小寺委員、伊與部委員、山本委員、村田委員、藤島委員 井上委員
欠 席 者 氏 名	山野寺委員、信太委員
事務局職員職氏名	小室総務部長、後藤政策主幹、中村政策担当主査、赤川政策担当
議 題	1 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 2 地方創生に係る令和2年度の取組内容について 3 地方創生に係る今後の取組内容について 4 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した	0名
会 議 資 料 の 名 称	資料1 人口ビジョンの概略(2019実績値) 資料2 第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(数値目標・KPI)進捗状況 資料3 地方創生に係る令和2年度の取組内容(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業) 資料4 地方創生に係る今後の取組内容について
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>それでは定刻になりましたので、令和2年度第1回目となります美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>開催に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>本日の議題につきましては、既にご案内のとおりでございます。第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況、それから2年度中の取り組み、また、今後の取組の内容につきましてそれぞれ事務局より説明をいただきたいと思います。また、合わせまして人口減少対策を含む地方創生に対しまして、このコロナ禍に伴って起きた現状を踏まえながら、これからのあり方や課題につきまして改めてまた皆様方と検討していきたいというふうに思っておりますので本日は貴重なご意見を賜りますようよろしくお願いいたします。なお、本日本につきましては、信太委員と山野寺委員が欠席となっております。8名の委員での開催となりますので重ねてよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります前に2番目にあります委嘱状の交付ということで、今回より3名の方が人事異動で後任としてこの委員会に参加されておりますので、早速委嘱式を始めさせていただきます。</p> <p>この後の進行につきましては、総務部長よろしくお願いいたします。</p>
事務局（総務部長）	<p>只今、会長からお話がありましたように、今回人事異動等によりまして美幌高校校長の伊與部様、網走信用金庫美幌支店長の山本様、北海道新聞北見支社営業部次長の藤島様、以上3名の皆様に後任として委員をお引き受けいただいているところでございます。</p> <p>それでは、平野町長より委嘱状の交付を行います。私がお名前を申し上げますので、恐れ入りますがその場でご起立の上委嘱状をお受け取りいただきたいと存じます。</p> <p>（平野町長より順に委嘱状の交付）</p> <p>伊與部 明 様 山本 大介 様 藤島 紳太郎 様</p> <p>ここで、平野町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
平野町長	<p>改めまして皆様、こんにちは。</p> <p>皆様には色々な形で行政に関わっていただいておりますこと、心から感謝申し上げます。</p> <p>今回、団体等の移動により、伊與部様、山本様、藤島様の3名の方に委員の委嘱をさせていただきました。3名の皆様にはお忙しい中、委員をお引き受けいただいたこと、心からお礼を申し上げます。任期につきましては、令和3年11月26日までの前委員の残任期間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。また、横山会長をはじめ他の委員の皆様には引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、美幌町の人口は1985年、昭和60年でありますけれども、これを境に減少が続いておりますが、2040年には12,000人程度まで減少するとの推計がございます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局（総務部長）	<p>人口減少は、全国的な傾向であります。雇用の減少や消費市場の縮小など地域経済に大きな影響を与えます。2期目となります美幌版創生総合戦略を本年の3月に策定し、美幌町の住みやすさや魅力を高め、高い自立性を保持していくまちづくりを目指して本年度からスタートしたところであります。施策の内容につきましては、高い実効性を確保していくため、本日で参加の委員で構成します美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を組織しているところでございます。</p> <p>美幌町は、これまでも人口減少対策に係る様々な事業を行ってまいりましたが、それぞれの事業の効果検証や新たな取組等についても審議・検討を行っていただくこととなりますので、どうか皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。委員の皆様には積極的な忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私から簡単でありますけれども、挨拶とさせていただきます。これからもよろしく申し上げます。</p> <p>ここで新たに委員となられた方もいらっしゃいますので、改めまして委員の皆様から自己紹介を兼ねまして、一言ご挨拶をいただければと思います。</p> <p>（横山会長から順に挨拶）</p> <p>ありがとうございます。先ほど会長からもお話がございましたが、本日所用により観光物産協会の信太委員、並びにJAびほろの山野寺委員のお二方が欠席をしております。お二方を加えた10名により本委員会が構成されておりますのでご報告をさせていただきます。</p> <p>続きまして、事務局をご紹介します。</p> <p>（事務局順に挨拶）</p> <p>事務局、しっかりサポートしてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは平野町長におかれましては、この後次の公務が入っておりますので、申し訳ございません、ここで退席させていただきます。</p>
平野町長	皆様よろしくお願いいたします。
事務局（総務部長）	それでは引き続き、会長進行よろしくお願いいたします。
横山会長	<p>それでは、早速議事の方に入らせていただきます。</p> <p>事前に送られてきている書類は全員持参ということでよろしいですね。</p> <p>それでは議題の（1）であります、第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況につきまして、説明をお願いいたします。</p>
事務局（政策主幹）	資料1 [人口ビジョンの概略（2019実績値）]・資料2 [第2期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（数値目標・KPI）進捗状況] に基づき説明

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	ありがとうございます。それでは只今説明をしていただきました資料 1、資料 2 につきまして、何か感想、ご意見、並びにご質問等がありましたら挙手をお願いしたいと思います。
村田委員 事務局（政策主幹）	資料 2 の一番下の企業・政府機関の誘致件数は、累計だと、令和 2 年は 1 件では。申し訳ありません。令和 2 年度 1 件で訂正をお願いいたします。
横山会長	今と関連して、令和元年度と令和 2 年度 10 月末の数字の確認なのですが、累計をされているところと累計をされていないところがありますが、そのところの見方がちょっと分からないので、どこの部分が累計した数字で、どこが単年の数字なのかその見方を教えていただければ。
事務局（政策主幹）	右側の算出基礎のところ括弧で累計と書いてるのが、ちょっと見づらいですが、それが累計となります。
横山会長	地域おこし協力隊の移住者件数なんだけど、令和元年で 1 名、令和 2 年度の途中でもう 1 名採用されていると思うんだけど、そうすると累計が 2 名になると思うんだけど。
事務局（政策主幹）	申し訳ございません。令和元年度が 1 名で令和 2 年度が 2 名に訂正をお願いいたします。
横山会長	次に（2）の令和 2 年度の取り組み内容につきまして説明をお願いします。
事務局（政策主幹）	資料 3 [地方創生に係る令和 2 年度の実施内容（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業）] により説明
横山会長	何か皆さんからご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
村田委員	GoTo イートの、美幌町の担当店ってあるのですか。
横山会長	GoTo イートは、今販売所につきましては、網走信金美幌支店さんのみでの販売になっていて、取扱店は今のところ 4 店舗が登録されています。本来であれば先ほどの食堂組合の 16 数店が登録する予定で、会議所の方で支援を行う予定だったのですが、コロナの第 3 波の関係で、やっぱり食堂の方が恐ろしいという状況の中で、なかなか申請するのに足踏みをしている状況でありまして、つい最近 1 件だけ申請は終わらせていただいて、今の現状は 5 店舗というところです。
村田委員	逆に言えばあの予算は、地方に分配してもらって、その状況に合わせて使ってくださいとして、全国的にやるようなものじゃないような気がしますよね。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>先程、支店長に確認を取らせていただいたら、今、国が GoTo イートの販売の取り止めをするかなというそういうニュアンスまでになっているということなので、あとは総務部長の方から、町から道、道から国に、今、村田委員から言われました予算を別の形で回してもらえるようなお願いをしていただければありがたいと思います。</p>
山本委員	<p>Goto イートの関係では、11月10日から販売開始だったのですが、私どもも相当売れると事務局の方から言われてまして、臨時の職員まで用意するか、本部から応援もいるかという状況だったのですが、コロナも酷くなってきているし、美幌の登録店舗が少ないだろうという予想で、応援までもらわなかったのですが、全く売れておりません。おそらくこのまま販売一時停止になるのかなと。あと美幌の関係でいくと、8,000円で10,000円、2,000円のプレミアムですけども、町で行ったプレミアム商品券が10,000円で15,000円だったというのが皆さんの頭の中に非常に残っているので、大したプレミアムじゃないよねというお客さんが結構いるので、そこが当町においては販売が伸び悩んでいるところなのかなというのがあります。</p>
横山会長	<p>それでは、続いて3番目の今後の取組内容につきまして説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>資料4 [地方創生に係る今後の取組内容について] により説明</p>
横山会長	<p>只今資料4についての説明がございましたが、何か今の説明に対してご意見、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
村田委員	<p>結婚までの支援ということで、対象世帯で新規に婚姻した世帯とはどういう意味か。</p>
事務局（政策主幹）	<p>おそらく、初婚ということだと思います。 まだ、令和3年度につきましては、拡充も含めて国の方で制度設計を行っているということで、具体的な事業内容が発表されていない状況です。</p>
横山委員	<p>それでは、4のその他の部分と関連しまして、今後の取組の部分について今日できましたら、冒頭の挨拶の中でも述べさせていただきましたように、このコロナ禍の中で相当見直しだとか検討していかなければならない部分というのもありまして、新たに新規で3名の委員の方も本日参加されておりますので、僕の方から指名という形になるかもしれないですけど、今後の課題についてご意見いただければ非常にありがたいなというふうに思っております。先程の説明がありました資料4の施策2の(2)の雇用・起業支援の検討中であるテレワーク、シェアオフィス、それから次の観光の部分でのワーケーション施設の整備、これは検討中ということで、やっぱり当然のごとくコロナ禍の中に伴ってそういうような部分の見直しをかけていかなければならないと思うのですけれど、ここで水島副会長にお伺いさせていただきたいのですが、あるアンケート調査の結果によりまして、コロナ禍における子育て世帯という部分で、夫は子育ての時間が増え子供との絆が深まったと。一方で妻は子育てや夫への対応でストレスが増加してきていると、合わせてテレワークの内で約9割はテレワークを望みますよというアンケート結果の中なんだけど、夫のテレワークを望むという事はできればどっかに行きたくし</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島委員	<p>い部分での奥さんのアンケート結果という部分の数字が出ていたんですけど、その辺についてどのような感想を持つか、どのように思うかという部分の発言をいただければありがたいです。</p> <p>夫はこのコロナ禍でテレワークという事はなく、私もなんですが仕事に出ていたんですけども、昔から夫元気で留守が良いというのが定説なのかもしれませんが、逆に子供たちが出なかったことでやっぱり3食作らなきゃいけないという給食の有難みというのを実感したところではあります。また、ニュースとかでもあったんですけども、夫がやっぱり家にいることでストレスが溜まってDVだったりとか、子供への虐待、逆に外に出ているなら子供達が虐待されていても先生や他人が見つかることができるということがあったりするんですけども、外に出ない分、内々に籠ってしまった時に子供たちの安全という面で、そういうところで不安に思ったりするところはあります。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。 井上委員どうでしょうか。</p>
井上委員	<p>我が家はコロナの時は、結構家にいたので家族が揃って嬉しかったです。でもやっぱり水島さんが言うように3食作らなきゃいけなかったり、親も仕事行ったり休んだりというそれぞれの働き方が違うので、お母さんたちは大変だったというのは聞いてはいます。テレワークは、ちょっとやっぱり田舎だからあまりその実感が無いというか、自宅で会社の仕事ができるというのは、そういう会社で働いている人があまり周りにいないからちょっと遠い話という感じです。</p>
横山会長	<p>そうですね。確かに美幌はそういう企業が少ないということで、逆に山本委員の前赴任地の斜里はテレワークは結構あるんですね。その辺の状況を話していただければありがたいかなと思うんですけど。</p>
山本委員	<p>前任の斜里町では、現町長の公約でテレワークを推進するというので、今が2期目ですから5年くらいになるのかな。それなりに実績を残して名だたる企業、日本で言う大手損保会社であったり、スタバであったり、コカ・コーラ等々ですね、様々な会社がテレワークをしに斜里町に訪れておりました。何故テレワークをしに来るのか、まず美幌町の企業であればテレワークをして仕事をする必要がない、東京であれば何時間も満員電車で揺られて出勤、出勤すればビルの中に何百人、何千人という職場という環境から抜け出る為に地方に来てテレワークをしようという、今のコロナにおいてはそういう考えだと思いますので、こちら辺の企業であればテレワークは本当に必要なのかと考えた時にそれだけの人数がいるわけでもないし通勤中に密になる事もないですから、こちら辺の企業には必要ないことなんですけども、東京であったり大阪であったり、そういうところの企業ではやはり来ると通勤時間がないのが全くストレスを感じない、定時5時で仕事が終わってまた帰る時間がないのでその分色々な趣味だったり友人と何かをすとかの時間に使えて、中では人は変わっていますが、1年中、人を派遣している企業もありまして、年に2回ずつくらい来るところもあるんですけども、リフレッシュするために来てまして、決して遊びに来ている訳ではないのですが、遊びながら仕事をするような感覚で来ているのかなと周りから見れば見えます。色々な今人の繋がりもできてきて、昨年はドローンレースの大会をテレワークに来ている企業を中心になって開いたり、東芝の陸上部が子供たちの陸上教室をやったり、今は斜里高校と共にプログラミングとかの授業をや</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>っているようなので、それなりの成果が出ているんだと思って見てました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>逆に観光なのか仕事なのか分からないという部分なんですけども、伊與部校長先生、赴任地の倶知安、ニセコ地域ここは殆どやっぱり夏冬通しても観光でって部分があると思うんですけども、そういう部分でのテレワークだとか、今言われた高校と地域との絡みだとかその辺の状況的なものをもしお話ができるものがありましたらお願いします。</p>
伊與部委員	<p>テレワークと直接関りないところが多いのかなと思うんですね。だとしても出来る職種と出来ない職種がありますので、事務方であればできやすいと思うのですが、倶知安町は今15,000人で、そのうち約1割が外国人が住んでいるということで、冬場はスキーがあるので、かなり仕事としてはあるのですが、夏場がないということで、今町の方で主体となってJAも含めてですね、夏場は農作業にという形で社員を派遣するという形で進めているという状況でやっていますね。テレワークは出来る環境と職種があると思いますので、そういう部分で言うと事務方しかできないのかなと思います。結構外資系の会社もございますので、そういうところでテレワークをやっているところはありますね。</p>
横山会長	<p>藤島次長、北見市は特にテレワークでオホーツク管内で最先端をいっていると思うのですが、その辺の最先端をいっている部分でもし情報的にお話できる部分とかありましたら。</p>
藤島次長	<p>テレワークの設備とかテレワーク自体は進んでいるんです。ただ、ワーケーションの段階まで進んではまだないと思うんですね。ワーケーションの段階ということでいくと、今年の夏に環境省の補助金が出てワーケーションに対しての補助事業というものが発表になって、その時に手を挙げて採択されたのが、知床斜里であったり、阿寒摩周国立公園であったり、やはりナショナルパークが優先的に通っている訳ですね。そういったところが、ナショナルパークの国からの支援を前提とした資本力でワーツと環境整備していくと、乱暴な事を言ってしまうと北見の先進性って飛んじゃうよねと、そこところは北見で我々も会話しているところで、テレワークからワーケーションとなってくると、住むように生活していくというところの部分、単純にパソコン環境、wi-fi環境を揃えれば良いのか、例えば1週間なり2週間滞在して仕事するとなってくると、普通の旅行と変わってくるわけですよ。例えば爪切りが必要だとか、爪切りをいちいち買うのかとか。ホテルは、朝御飯はでるけど、じゃあ晩御飯を毎回毎回3千円、4千円かけてお酒飲んで食事するのかとなってくると、1千円くらいお酒飲まないで定食なくて良いのかとか、町全体、地域全体でワーケーションを受け入れる体制みたいなものが、これから議論が必要になってくるのかなと。それとひとつの行政単位だけでなく、行政単位を跨いで、オホーツクの中で、じゃあ南側とか、真ん中とか、北とかという中で、地域連携して宿泊はここで良いんじゃないとか、土日に遊んでもらうのはここで良いのではないとか、仕事はここでとかすみ分けをしながら皆でワーケーション客を受け止めていく形が、ちょっと議論が必要かなという事を実はここ数ヶ月の間に町の方々と会話をしながら、来年度以降考えていかなければいけないのかなという話をしているところです。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。今の次長の意見は、本当に貴重な意見だというふうに思います。単にコロナ禍だから何でもかんでもという事ではないという部分と、そこまで考えていかなけれ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>ば成り立たないのかなと感じさせられたところであります。</p> <p>うちも、町も入って、観光物産協会も入って森林組合さん、J Aさんとか、網走信金さんも入った観光まちづくり協議会というものを設置してまして、このトップはうちの会頭が務めさせていただいているのですけれども、そこでもコロナ禍で農水省の補助金をもらいながら事業を進める上で、最初の計画と大幅にズレが生じている。そのズレを修正する段階で、いずれにしても観光の事をやらなければならないので、ワーケーションという位置付けがポンとうちも出てきているのですね。だから単純に今委員が言われましたとおり、単純に、だからワーケーションで良いのかということ突き詰めてもっと協議していかなければならない部分が多々あるのかなという事で、帰ってからうちの担当にもう少しその辺の話を突っ込んだ形の中で検討しながら取り進めていかなければならないというふうに感じさせていただきました。ありがとうございます。</p> <p>いずれにしても、密を割けるという部分では、どうしてもネット環境に頼らざるを得ないという状況になりつつあると思うんですね。だからその辺をどういうふうに今言われた部分で対処していかなければならないかなということだと思いますので、貴重なご意見ありがとうございます。助かりました。</p> <p>また、小寺組合長、話が飛ぶかもしれませんが、町は美幌企業の森づくりだとか、F S Cで森林認証制度だとかという部分がありまして、農業に次ぐ基幹産業になりつつある森林なんですけど、これもコロナ禍の中で、修学旅行も今遠くに行くのではなくて地方の身近なところで修学旅行を行うという状況が全国的に変わりつつある中で、今の美幌町の取り進めている、森林組合さんがやろうとしている森林の部門で、森林を学ぶツアーだとかという修学旅行向けの商品化だとかそういうことができないのか、可能性的なものはどうなのかということをちょっとお聞きしたいなと思ったのですけども。</p>
小寺委員	<p>可能性がないわけではないですけど、森林は多様性があるので、どの部門をやるかそれさえはっきりしてくればそれなりの事はできると思います。</p>
横山会長	<p>今、農業体験なんかで大阪の高校生に来ていただいて、地元でできない部分は弟子屈でやっていただくということで、修学旅行生の受入を結構美幌でもやっているのですけども、そういう部門をこういうふうな形でというお示しをさせていただければそういう部分での対応だとか身近な小学生の近場での修学旅行だとかという対応なんかも今後、もしお話できれば可能性的にはあると、そういう認識でよろしいでしょうか。</p>
小寺委員	<p>はい。</p>
横山委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういう部分で少なかれ高校生だとか中学、小学生の修学旅行の受け皿として美幌町も関係人口をそういう形で増やしていくというのも一つの手だと思いますのでその辺また、組合長協力の程よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>村田委員、地区連合の役員という事でこのコロナ禍の中で先ほど有効求人倍率の話もありましたが、美幌町ではそんなには出ていないのですけども、地方では失業者だとか企業の廃業だとかという話も出ているんですが、具体的に対応とか対策で思っていることがありま</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
村田委員	<p>したら、ご発言いただければと思います。</p> <p>個人として色々思うところを述べたいと思います。</p> <p>先程から話題になっていますテレワークが普及してきているということで、地方でも仕事ができるという事が実証されてきていると思うんですね。それでこっこの目標にも企業とか政府機関の誘致ということがあるんですけども、今までなかなか国の方も地方に出ていくということに対しては重い腰だということが、やっぱりこういう状況になってくれば国がやっぱり率先してですね民間の模範となるように地方に出ていく状況を作らなければならぬのかなということ、そういう点で詰めていけば逆を言えば、今までよりも国への働きかけが少し楽になってきているのではないのかなと思うんです。それで、政府機関の誘致についてももう少し力を入れた方が、小さな事務所でも良いですから、可能性としては今まで以上に出来たのかと思います。ただ心配なのは、昨日の道新さんの新聞にもあったのですが、幌延深地層研究センターの記事が載ってましたけど、それでそこで、当時の町長は研究施設は人口の維持増加に繋がると期待して2001年に開設したということで、お金の方は20年間に交付金30億、固定資産税21億入ったといくことで財政的には潤っているということなんですけども、人口が2,800人から500人以上20年間で減ったということで、雇用も事務のアルバイト6人しか雇用の受け皿がなかったというような事なので、建設業も減っているということが記事になっていました。それでちょっと寿都町や神恵内のようなああいうような形で美幌町の活性化を図ろうというのは辞めていただきたいというのが私の意見です。</p> <p>もうひとつは、グランドホテルの廃業に伴って、宿泊に対しての影響も大きいというのもありますけども、古い人は分かっていると思うんですけども、旧町民会館時代にあった美幌町のビールパーティ文化というか、夏場になったら毎週のように10件くらいはビールパーティーがあると、これは当然夜の町の活性化にも役立つんですけども、こういう大きい影響があるということも考えますと、やっぱり宴会場施設を持ったホテルの誘致というのが絶対町にとっては必要ではないかなと思いますので、こちらの方も企業誘致の中で力を入れて考えていただきたいなと思います。</p> <p>それとこれはちょっと直接大きな目標ではないんですけども、先日ウォーキングしておりましたら、北中のグランドの横を通った時に野球部が練習をしていました。部員6人くらいしかいないんですけども、6人だとバッティング練習やっても球拾いする人が居ないんですね。よっぽど行って手伝ってあげようかなと思ったんですけども、やらなかったんですけど、そういうのがあれば私もそうなんですけど、ボランティアでもアルバイトでもいいんですけど、少しなら手伝える人が結構いると思うんですね。また、ちょっと手伝って欲しいんだということも、学校だとか企業だとか農家だとか色々あると思うので、そういうのをつなぐ部分というかそういうのを町の方でなんとかできないのかと。ボランティア団体は色々ありますけども、もっとこう皆がこう知られた部門にそういう部署を持ってくれると町民の縦の繋がりもできてくるし地域の関係ももっと良くなるんじゃないかなと思っていて、提案してみました。以上です。</p>
横山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後の話なんですけど、自分もそう思うんですね。自分も北中で野球部だったので、やっていた時に土日なんかは、当時役場の野球部の方が指導に来ていただいたりした部分だとかがあったんですね。今回役場の野球部が全国大会に出場するんですけども、当時もそれなりの人たちがいたので、そういう支援だとかがあったのは事実で、そういった部分で地域との関わ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
伊與部委員	<p>りだとか、美幌高校も定員割れしているという部分で、やはり勉学もさることながらやっぱり部活というのも重要な部分だと思うんですね。部活に携わる顧問の先生は居ても、極端な話をする指導できる先生がなかなか出て来ないという状況の中で、強い部活を作れないという部分でのやはりそういうボランティアでも良いから美幌高校、中学校もそうですけれども、携わることによって強い部活動ができるというふうに思ったりする部分もありますので、村田委員が言っていたことは非常に貴重なご意見かなと思っております。ありがとうございます。</p> <p>あと、グランドホテルの今年の5月31日で閉館に伴って、建物が崩されて壊されている状況という部分を見てですね非常に涙が出るくらいなんですけど、飲食店関係からも村田委員と同じようなことも言われておまして、それは宿泊の部分なんですけど、宿泊がないことによって飲食店に来るお客さんが少ないと、地方から来るお客さんが少ないと、そういう激も飛んでいるのも事実ですので、これだけの美幌町で、民宿だとかは日本甜菜製糖さんの運輸のトラックなんかでびっちりなんですけど、観光客ではないんですね。そういうのを担う宿泊施設は本当に必要なというふうに思いますので、それらも企業誘致という一貫の中で取り組んでいただければと非常にありがたいかなと思います。</p> <p>あと校長先生、来年度令和3年3月の入学者数に向けての、やっぱり地域とともに歩んだ美幌高校を作っていくうえでもやはり皆さんからの色々な助言だとか取り組みだとかと一緒にしていかなきゃならないという部分だと思うんですけども、そういう部分で校長先生から何か皆さんにお願いしたいことだとか、美幌高校が今こういう取り組みをしているだとか、話を、前回鎌田校長の時に水島さん、井上さんから厳しいご意見が出て、やっぱり進学の問題だとか部活の問題だとかそういう厳しい意見が出たという経過もあるんですけど、その辺を踏まえて校長先生その辺の話をしていただけるとありがたいのですが。</p> <p>この学校の問題は、美幌高校に限った問題ではなくて、小さい町にある学校のほとんどがこういう状況です。ですから本当に文科省が言っている35人学級とかそういう部分を将来的に見ていかないと、ただ人数を集めてという形ではもう限界かなという風に私自身は思っています。あと、学校の魅力化という事で進学率だったり、公務員関係ですね、そういうものに対しての合格率を上げるだったり、それぞれ普通科の特長、農業科の特長を作っていくかないと、本当に北見に全部持っていられるようなそんな状況でありますので、何とか良い方法はないかなという事ですね、毎日職員と話をしながらですね進めている段階ではあるのですが、例えば私は農業端でずっと歩いてきたものですから、静内に行った時ですね、静内農業高校、あそこは全国の馬産地で軽種馬の生産をしている学校でもあるんです。あそこは全国から集まるんです。教員時代勤務してですね、私は畜産科という学科を持ったのですが、クラス40人がいまして、半分近くは大阪、京都、奈良、遠くは沖縄からも来ていて、次私が教頭やっているときにも、非常に優秀な生徒が入ってきてまして、おそらく慶応に行ったと思うのですが、あとは当時センター試験を受けて室蘭工大とか北見工大とか普通に入ってしまう。そういう能力のある生徒もいましたし、あと、薬学部ですね、薬科大に入りたということで、そのまま試験受けて入れるような子だったり、推薦だとか、そういう子もいましたので、ですから人を集めるということではないですが、この地域だけでは難しいこともありますので、全国からやっぱりそういう何か魅力あるものを一つ見つけて、この美幌町にも絶対あると思うので、その原石がまだ見つからないのですが、磨けば本当に光る原石はたくさんあると思います。そういう部分を今後探していきたいと思っております。時間の無いところでの</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>で、この後間口が削減されるという方向で進むのではないかなと思います、削減された後も何とか魅力化、生き残りを図って進めていきたいと思いますので、皆様のお力添えをよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>伊與部校長先生の学校教育方針の中にも、学校目標というかその中にできれば美幌高校生の地元のレストランを作りたいという、そういう目標も持っているのですよね。ご存じのように、三笠高校が土、日ですけれども高校生がウエイレスから料理から全部やるとそういう一貫した部分、自分も校長先生と関りを持たせていただいて、地元にも美幌高校さんの貴重な野菜だとか収穫できるものがある、それをやっぱり広く広めるといふ部分で、僕は伊與部校長先生のそういう思いを何とか実現できる方向に持っていければ、交流人口だとかいろいろな部分でそういう何かしら人口が増えてくるといふ思いますので、その辺総務部長よろしくお願ひしたいなと思います。</p>
伊與部委員	<p>前任の倶知安高校に3年間校長でいたのですが、町は先ほどお話しとおりの外国人は人口の約1割を占めているということで、外国人のいるところは比羅夫地区と言いまして、どちらかと言いますとニセコの方の山の方なんです。で、日本人はというと本当の街の中、駅を中心に街の中に住んでいるんですが、そこの大きな壁が生じているんです。山側と街側ということですね。そう意識をできれば私は払拭したいなと思ったので、まずは3年間でしたが、居る間にカフェを作りましてできるだけ交流ですね。外国人との交流ということで、農業と英語教育を融合させたようなそんな形で、例えばカフェのメニューも日本語と英語を併記、それから接客にしても英語もしゃべれるし、日本語も対応できる、そういうような形でやってきて、たまたまG20というものがあつたものですから、それで向こうの視察に来た方々が是非協力をお願ひしたいということで、全面的に高校としては、おそらく歴史上ないと思うのですが、そういう形でやって来ました。また、おそらくこれもですね、今年の9月にできた日本酒で、「なかごころ」といふ高校生が作ったものですが、これも私が企画しまして、外国人と日本人との繋がり、これを大事にして、外国に出ても動じない、そういう人間を、高校生を作りたいなと思つていましたので、それで融合させて子供たちが全部英語で説明して、稲刈りから食べるまで、そしてお酒を造るところまで、そういう形でやらせたという経過がございます。こちらでもそういう経験を活かせればなというふうにお願ひしておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと何かまだしゃべり足りないという方がおりましたら。</p>
事務局（総務部長）	<p>色々貴重なご意見を皆さんからいただきまして、何点か明確に答えておきたい部分もあるなと思ひまして、まず核のゴミの文献調査ですね、二つの自治体が道内で手を挙げておりますけれども、これは平野町長においては全くそういう考えはないということをはっきり申し上げておりますので、この場で委員の皆さんにお伝えをしたいと思ひます。</p> <p>それから幌延の記事も私も読んで、30億の財源が来たけれども人口は減少が続いているよと、やっぱり目先の財源に走っても結局どういふ町にするのか、暮らしやすい町にしていくのかという思いがないと、金はあつても人は減る、間違いなくそうだと思いますので、本当に財源にふつと踏み出してしまふようなそういうことはやりたくないと思つてますし、議会にも毎</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>年、今後10年間の財政見通しというのをしっかりとお示して、その中で当然厳しい状況があり得るのであれば町民の皆さんに説明をして一定程度の負担をお願いしなければならないということもやって来てますので、そこはこれからも続けていきたいなと思っております。</p> <p>あと、高校ですね、間口の削減、なかなか厳しい状況が続くなどは思っているのですが、今総務部で所管している中に地域の公共交通を私所管しておりますので、今町内のバス路線をこの1、2年の間に見直そうと、その大きな目標は、美幌高校が皆さんご承知のとおり郊外にありますので、非常に交通という面でいくと利便性がなかなか厳しいんですね。親御さんからすれば、今もそうですけど本当に車で送迎して並んですごいですね。あれを解消したいなと思ってですね。美幌高校に接続するバス路線を増やしてですね、通学に支障がないように何とかできないかと色々知恵を絞っていますので、一定程度方向性が出れば校長先生の方にお伺いして色々ご相談したいのですが、そこで利便性が少しでも改善できれば例えば親御さんも地元の高校に行かせようというひとつの切っ掛けになるのではないかと考えていますので、色々考えていきたいと思っています。</p> <p>あと、グランドホテルの廃業ですね。私も何度も通っておりますけども、ぽっかりと穴が開いてしまったというか。やはりずっと昔から通過型観光の美幌町を何とか滞在型にというのは、私役場30年前に入りましたけどもずっと言ってきて何も変わってないですね。そうしているうちにグランドホテルがなくなってしまって、あそこは確か40部屋あったと思うんですけども、つい先日も役場の管内の職員が集まって研修会を美幌で開いたんですね。町村でいうと美幌というのは遠軽とほぼ2万人ということで大規模なものをよく開くのですが、今回集まった研修生の皆さんは美幌で宿泊が取れなかったんですね。民宿も含めて。皆さん北見に泊まって毎日美幌の研修に来たんです。やっぱり皆さんに美幌はホテルを何とかしないとこれじゃだめだよと改めて言われて、分かってはいるのですがも本当にここで何か思い切って踏み込まないとジリ貧というか、ずっとこの流れが止まらないなという思いがありますので、ここは近々にしっかり考え方を整理をして一步踏み出せるようにしないといけないなと。テレワークなんか、先ほどワーケーションのご指摘もいただいて、ご承知のとおり光ファイバーが100%にこの1年でなるわけですね。郊外どこに住んでいても光ファイバーが接続できるようになりますので、裏を返せばそういう環境をいかにうまく活かして外からも人を呼び込むし、住んでいる人も色々な事で活用する環境にしなきゃいけないと思っていますので、そこでやっぱり他の町もみんなコロナが終わった後、おそらく収束というワクチンができて、経済活動もグッと前に行くと思うのですが、そこでいかに他よりも早くしっかりと町としての考え方を出せるかというのが大きいポイントになると思いますので、今政策担当も来ておりますけども、私たちもしっかり情報収集をして何ができるのか、何が必要なのかというを見極めて、そこに向かって力を注ぎたいと思いますし、どうか委員の皆さんにも今日のこの場以外も含めて日頃からもお気付きの点とか、こういったことを考えたら良いよというご提言とかがあれば、是非いつでも私たちの主幹、主査、担当がおりますので声をいただければありがたいなと思います。長くなって申し訳ないのですけれども、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>あと、今日欠席しております観光物産協会の信太委員からも事前にコメント頂いているということなので、後藤主幹から報告をお願いします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局（政策主幹）	<p>宿泊施設の充実について、観光分野では政府のインバウンド政策のほか国内需要も大幅な縮小となり宿泊業や運輸業、飲食業に大打撃となっております。道内でも、観光業界の切り札として、満を持して設立スタートした HAP が経営計画を大幅に軌道修正せざるを得ない状況です。美幌峠の入込者数も減少しています。美幌町の KPI も観光入込客数、宿泊者数の下方見直しが必要かと思えます。</p> <p>また、美幌町民アンケートを見ると、町内宿泊施設の充実を課題に挙げられている方が相当いらっしゃいました。注目されている課題なのだと思います。今年、残念なことに美幌町最大のホテル「美幌グランドホテル」が閉館となりました。雇用の喪失により人口減があったのではと推測します。美幌町観光振興革新戦略ビジョンの 28 頁には、「各関係団体と連携を図りながら宿泊施設の誘致に努めます」と目標が記載されています。</p> <p>現在のコロナ禍で、GoTo キャンペーンで一時回復はしましたが、全国的に多くのホテルが苦戦しています。ですので「大手ホテルを誘致しなければならない。」のような回答された方の現在のお考えは、「今後コロナ禍が回復してから」もしくは「回復時期を見て」という言葉が付くのではないかと思います。ご存知のように美幌町内の宿泊利用は常態としてビジネス利用が中心です。宿泊業者は主に建築土木等の長期出張者を常連として抱えており、今年は庁舎その他の工事があったため、春はダメだったが秋は例年より多いと聞いております。グランドホテル常連客だった方はおそらく北見や網走のビジネスホテルに変えたのではないかと推測します。当協会長も、宿泊施設の充実に関しては課題に掲げています。町や商工会議所様とも連携を図りながら、例えばグランドホテルさんの過去の宿泊数等のデータを提供いただき、何室何人規模の宿泊施設が必要かを想定しコロナの再発や収束状況を見据えつつ、誘致の時期とタイミングを検討したいと考えます。</p> <p>次に、ワーケーション施設の整備について、現在、ワーケーション事業の旗振り役となっている環境省では、ワーケーションを強力に推しており、今年、事業に関する補正予算も大きな額が交付されました。（22 億円が 501 団体に支給されました）</p> <p>2020 年 4000 万人のインバウンド実現がコロナによって困難となって路線転換として夏くらいに出てきたのが「ワーケーションの推進」ということでした。我々観光協会や協議会の仲間内でもよくこのことについて話しています。「感染リスクの低いキャンプ場など自然志向が高まっている。＝テレワークの定着とワーケーションの機運が増大している。」「ワーケーション推進によりロングステイとエコツアーが拡大し with コロナ下における地域経済の下支えと観光地が活性化される」というのがワーケーションの狙いですが正直なところ、果たして日本の会社に定着するのだろうか。との意見が多く、私もそう思います。ただ、自然志向が高まっているのは絶対に間違いないと思います。欧米では受け入れられましたが、日本の有給休暇の取得率の低さのほか旅費や滞在費の負担を個人や会社ができるのか。仕事は仕事、遊びの時は遊びたい。など、専門家の間でもなかなか難しいという見方があります。</p> <p>以前、政府は働き方改革として「プレミアムフライデー」を推している間になくなった例などもあるので潤沢な補助金が落ちてくるのは魅力ですが、慎重に様子を見ても良いのかなと個人的には思います。</p> <p>以上です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先程、藤島次長さんが言われたことと同じことなので、先ほど総務部長が言われましたとおり、また改めて皆さんの委員の方から貴重なご意見をいただきながら取り進めていこうかなというふうに思います。</p> <p>それでは、次第の大きな5のその他で、事務局の方から何かありましたらお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>[まちづくりアンケートについて説明]</p>
村田委員	<p>これは何年の調査ですか</p>
事務局（政策主幹）	<p>これは平成30年です。その前に総合計画を策定した時に平成27年に実施、その前は平成25年にも実施しており、定期的に調査をしております。</p>
村田委員	<p>ちょっと気になるのが、一番初めのページの年齢別のやつなんですけども、答えている人が60歳以上で半分なんです。だから大体高齢者の福祉関係のところの重要性が集まってきたのだと思うので、その辺も見ておかないと全員がそうだよではないということを気を付けないといけないですね。</p>
事務局（政策主幹）	<p>できるだけ間をあげないように、年齢別にランダムで選んで実施して、その取り方もしっかり検討していきたいと思います。</p>
村田委員	<p>年代が上の方はまともに答えるよね。</p>
事務局（政策主幹）	<p>そうですね、年齢が高い方のほうが回収率が高いですね。</p> <p>ただ、第6期の総合計画を策定した時は、高校生にピンポイントでアンケートを取ったりとか、そうすると回収率は100%になったので、別個でやる必要もあるのかと考えております。</p>
横山会長	<p>それでは全体を通して何かありませんか。</p> <p>(一同無し)</p> <p>それでは本当に貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。</p> <p>最後の締めは、水島副会長に締めていただいて閉会したいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
水島副会長	<p>このコロナ禍の中で、皆さんすごく窮屈な思いをしていると思います。私も窮屈な思いをしましたし、ちょっと息子が地方の高校に行っていて学校の行事で旭川に行ったところで、その途中でコンビニに寄ったんですけど、そこで声を掛けられたのですが遠軽から来たのかいという声を掛けられて、その頃遠軽でちょっとコロナが出ていた時で、遠軽でコロナ出たしよと、北見ナンバーを見ただけでそういうふうな声を掛けられるという凄く嫌な思いをしたのですね。やっぱ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>り後ろ指を指すのではなくて、町民皆が何かがあったら手を差し伸べ合える、それぞれが色々な噂とかも出てきているのですが、そういう噂に惑わされなくて、困っている人が手を差し伸べ合える町になってくれたら良いなとつくづく思ったところであります。まちづくりは人づくりだということもあると思いますので、子供達をそういうふう to 育てていき、素敵な大人になる美幌町になっていってくれたら良いなと思っております。</p> <p>今日はお疲れ様でした。</p> <p>終了</p>